

空家等実態調査の結果について

空家等実態調査の結果について、報告を行う

1 調査目的

- ・掛川市内の空き家について、その実態の把握と要因を分析するとともに、個々の空き家の情報をまとめて今後の空き家活用や空き家対策につなげる。
- ・今年度に策定する第2次空家等対策計画の基礎資料とする。

2 調査期間

7年度 7～8月 空き家候補の抽出
9～10月 現地調査
11月 アンケート調査
12～2月 調査結果まとめ

3 現地調査結果

(1) 空き家候補の使用実態

- ・掛川市や地区会社の空き家情報、水道使用状況等から 3,111 件の空き家候補を抽出。
- ・空き家候補 3,111 件、すべての現地調査を実施。

空き家として判定	1,869 件
居住中、又は建物使用を確認	1,009 件
建物が解体され更地	220 件
山中等で建物まで到達できず	13 件

(2) 市内における総戸数等

総戸数	空き家数	空き家率
40,017 件	1,869 件	4.7%

※総戸数は住宅等が立地している区画数。

(3) 空き家分布図

- ・調査報告書 15 頁

(4) 地区別の戸数、空き家数、空き家率、地区別濃淡図

- ・調査報告書 16～19 頁

(5) 自治区別空き家数

- ・調査報告書 20～23 頁

(6) 不良度判定、周辺影響度判定

不良度判定		周辺影響度判定	
小規模修繕で再利用可能	1,359 件	ほとんど影響がない	1,348 件
中～大規模な修繕が必要	368 件	影響がある	352 件
大規模な修繕や除却が必要	142 件	相当の影響がある	169 件

(7) 土地の利活用判定

売却・賃貸の期待が高い	697 件
売却・賃貸の期待あり	632 件
売却・賃貸の期待が低い	245 件
売却・賃貸の期待が著しく低い	295 件

(8) 不良度判定と土地の利活用判定のクロス集計

- ・空き家の状態が良好で、土地の利活用判定も期待がある空き家は1,091件。
- ・除却が望まれ、除却後の土地利用の期待がある空き家は238件。

4 アンケート結果概要

- ・空き家として判定した1,869件のうち、送付先が確認できた1,860人にアンケートを郵送し、次のとおり回答を得た。

配付数	回収数	回収率	連絡先記載者
1,860 人	1,041 人	56.0%	477 人

- ・主なアンケート内容

空き家所有者の年齢、空き家になっている期間、維持管理、今後の建物の予定 など

5 実態調査の活用

- ・第2次空家等対策計画策定の基礎資料
- ・地区別対応
空き家率が高い地区等での勉強会の開催
- ・個別対応
所有者の空き家活用や除却等の相談対応、連絡先記載者への情報提供等のフォロー、
放置空き家所有者への行政指導
- ・その他
庁内他部署・消防本部・警察との情報共有

6 今後の周知予定

- ・市議会全員協議会 (4/16)
- ・広報かけがわ5月号 (5/1～)
- ・市長記者会見 (5/12)
- ・中央集会後の区長研修 (5/23)
- ・地区集会 (7月～)